

●●● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

■ 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>
不測の事態により電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第2部



リムーブマン



リフォームマン

アスベストの「リムーブマン」と「リフォームマン」

ノザワでは、アスベストの除去から、除去後のリフォームまでを一貫してお手伝いしています。その認知度アップに一役買っているのが、アスベスト除去の資格と技術経験が豊富な「リムーブマン」と、除去後のクリーンな環境を維持する「リフォームマン」。この2つのキャラクターは、アスベストを世の中から少しでも減らすべく活躍しています。

■この中間報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。

株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



第148期
中間報告書
H19.4.1~H19.9.30

株主のみなさまへ



創業百十周年

おかげさまで(株)ノザワは創業110周年

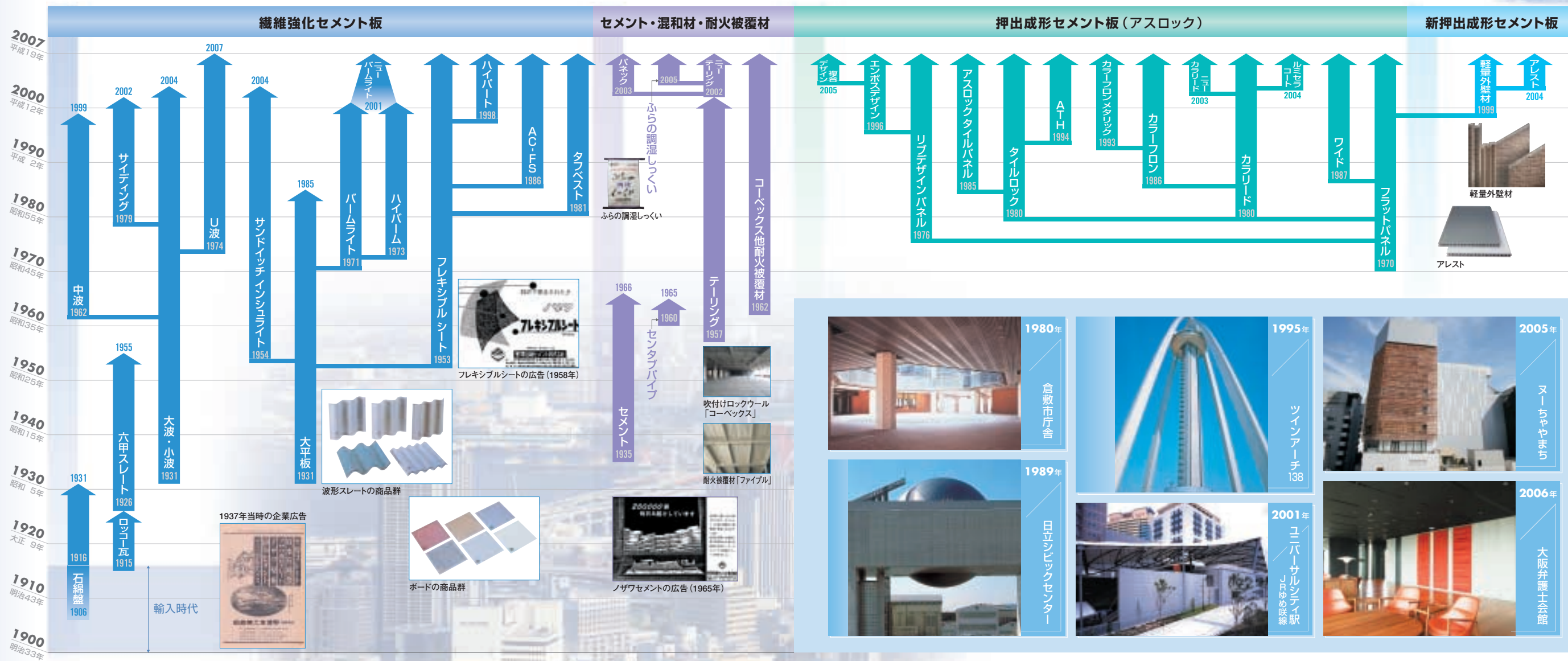
証券コード:5237

株式会社ノザワ

時代を超える企業として—ノザワの110年。

ノザワは、2007年8月17日で創業110周年を迎えました。洋藍染料、石綿盤の輸入に始まり、スレート、セメント、そして押出成形セメント板「アスロック」と、当時の常識を破る画期的な商品を次々と生み出してまいりました。これからも、「やすらぎと安心の創造」をコンセプトに建材のパイオニアとして歩み続けるノザワにご期待ください。

旧神戸居留地十五番館





代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第148期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

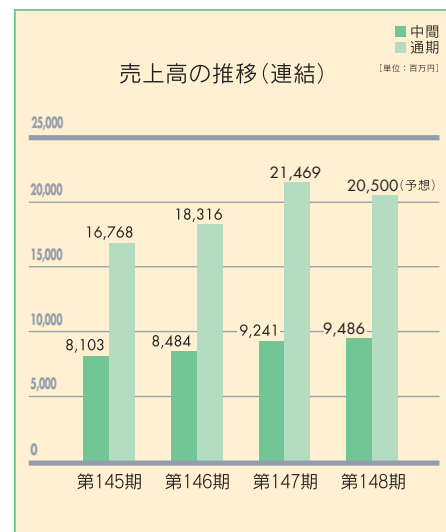
平成19年12月

■当中間期の取り組みと成果

【主力のアスロックが好調に推移】

当中間連結会計期間のわが国経済は、景気の拡大基調で推移しました。しかし、建築材料業界は公共建設工事の規模縮小や競争激化による価格の低迷、さらに建築基準法の一部改正による新設建築物の着工遅延も重なり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は主力である押出成形セメント板「アスロック」の新商品の販売強化や中国・韓国・台湾への輸出拡大および住宅内装用ボードの拡販に注力。環境対策工事におきましても施工体制の確立と施工品質の確保に努めてきました。生産面ではNNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)による生産の効率化や柔軟で機動性のある運転体制を実現するとともに、代替可能な低価格原材料へのシフトを推進。販売面では5月に



押出成形セメント板で初めてのルーバー専用アスロック「ASLOCルーバー」、6月には地域限定ながらローコスト化を実現した鉄骨低層建築専用アスロック「ASLOC S-line」、7月に素材の風合いをより意欲的に表現したアスロック・ナチュラルシリーズ「クリア塗装」を発売し、市場の用途拡大に繋がりました。また、アスロックの工法改善を行い、防水機能を一段とアップさせたNew「NPクイック工法」を発売し、商品力の向上に努めてまいりました。

これらの結果、アスロックは国内および海外向け販売が増加して前年同期比6億9千万円増収の43億62百万円、住宅用軽量外壁材は戸建住宅着工数の減少もあって前年同期比52百万円減収の7億59百万円、内装用ボードを主力とするスレート関連商品は前年同期比1億41百万円増収の9億18百万円、アスベスト除去工事は市場規模の縮小と競争激化により前年同期比5億17百万円減収の14億99百万円になりました。これらにより当中間連結会計期間の売上高は94億86百万円と前年同期比2億45百万円の増収になっております。営業利益は原油・原材料価格の高騰による製造原価アップを生産効率の向上によるコストダウンや経費等の抑制でカバーして前年同期比22百万円増益の3億6百万円、経常利益は前年同期比17百万円増益の2億51百万円、中間純利益は前年同期比32百万円増益の1億43百万円と増収増益を果たしました。

■当期の見通し

【あくなき企業努力で売上高205億円へ】

今後の経済見通しにつきましては、企業収益は引き続き堅調に推移するものの、米国経済の減速懸念をはじめ原油・原材料価格の高騰、金利の上昇など予断を許さない状況が続くと思われます。建築材料業界におきましても、建築基準法改正による新設建築物の着工の大幅な

落ち込みや競争激化による市況の悪化など、ますます厳しい状況が予測されます。

このような状況のもと、当社におきましては建築・住宅・土木市場での新商品創出のリードタイム短縮および開発力強化を図り、顧客ニーズを先取りした独創的な商品・工法を開発、上市し、事業の拡大を図っていく所存です。また、ダイナミックに壁面を表現する「アスロック900」の標準工法化、発売以来好評の「アスロック・ナチュラルシリーズ」や「ASLOCルーバー」など、競合品との「違い」をより明確にすることで国内販売を強化。海外向け販売では、9月に韓国釜山で開催された建材展に「韓国品にはない多彩なデザインパネル」をコンセプトにアスロックを出展するなど、東アジアでの建材展等に積極的に出展して海外での認知度を向上させ、アスロックの販売拡大を図ります。環境対策工事では、アスベスト除去工事の安心・安全施工技術による差別化、省エネ提案のハイパート外断熱システムの充実、スレートリフレッシュ工法の市場開拓を推進してまいります。

生産部門においては、高騰する原材料への対策として、品質を最優先に代替可能な低価格原材料への切り替えを促進し、NNPSによる品質向上・納期短縮・コストダウンに取り組みます。管理部門においては、金利の上昇懸念への対策として有利子負債の圧縮を進め、財務体質の改善強化に注力。また、内部統制システムの整備によってコーポレート・ガバナンスの強化を行い、企業価値の向上に邁進します。

これらの積極的な事業展開によって平成20年3月期の当社連結業績は売上高205億円、営業利益9億40百万円、経常利益8億40百万円、当期純利益4億50百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中間連結財務諸表

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間末 平成19年9月30日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	6,471,670	6,771,346
現金及び預金	936,811	905,422
受取手形及び売掛金	3,994,439	4,030,604
たな卸資産	845,082	739,281
その他	699,288	1,101,524
貸倒引当金	△3,951	△5,487
固定資産	15,367,323	15,820,701
有形固定資産	12,078,693	12,259,240
建物及び構築物	3,045,644	3,104,372
機械装置及び運搬具	1,533,842	1,555,601
土地	7,284,080	7,394,080
その他	215,124	205,185
無形固定資産	42,725	52,420
投資その他の資産	3,245,904	3,509,040
投資有価証券	2,418,431	2,698,047
その他	860,094	834,755
貸倒引当金	△32,621	△23,762
繰延資産	1,591	—
社債発行費	1,591	—
資産合計	21,840,585	22,592,047

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間末 平成19年9月30日現在	前連結会計年度末 平成19年3月31日現在
■負債の部		
流動負債	5,767,027	6,436,436
支払手形及び買掛金	2,778,422	2,870,861
短期借入金	1,108,000	1,476,700
賞与引当金	267,960	267,960
その他	1,612,644	1,820,914
固定負債	7,652,202	7,614,789
社債	315,000	404,000
長期借入金	3,503,500	3,223,500
再評価に係る繰延税金負債	2,278,410	2,321,235
退職給付引当金	959,424	906,373
その他	595,866	759,680
負債合計	13,419,229	14,051,226
■純資産の部		
株主資本	4,687,856	4,576,144
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	812,902	700,004
自己株式	△44,618	△43,432
評価・換算差額等	3,733,500	3,964,676
その他有価証券評価差額金	593,662	762,286
土地再評価差額金	3,139,837	3,202,389
純資産合計	8,421,356	8,540,820
負債純資産合計	21,840,585	22,592,047

■ 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高	9,486,473	9,241,302
売上原価	6,842,096	6,728,253
売上総利益	2,644,376	2,513,048
販売費及び一般管理費	2,337,928	2,228,990
営業利益	306,448	284,058
営業外収益	63,271	59,713
営業外費用	118,213	110,255
経常利益	251,506	233,515
特別利益	20,607	750
特別損失	37,659	16,742
税金等調整前中間純利益	234,454	217,523
法人税、住民税及び事業税	130,398	100,656
法人税等調整額	△39,712	5,766
中間純利益	143,768	111,100

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	419,273	124,628
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,217	△161,314
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,667	△295,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	31,388	△332,111
現金及び現金同等物の期首残高	905,422	1,538,928
現金及び現金同等物の中間期末残高	936,811	1,206,816

■ 中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	2,449,000	1,470,572	700,004	△43,432	4,576,144	762,286	3,202,389	3,964,676	8,540,820
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△93,422		△93,422				△93,422
中間純利益			143,768		143,768				143,768
土地再評価差額金取崩額			62,551		62,551				62,551
自己株式の取得				△1,186	△1,186				△1,186
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△168,624	△62,551	△231,176	△231,176
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	112,898	△1,186	111,711	△168,624	△62,551	△231,176	△119,464
平成19年9月30日残高	2,449,000	1,470,572	812,902	△44,618	4,687,856	593,662	3,139,837	3,733,500	8,421,356

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間会計期末 平成19年9月30日現在	前事業年度末 平成19年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	5,791,453	6,163,809
固定資産	15,094,436	15,505,012
有形固定資産	12,076,906	12,257,070
無形固定資産	42,235	51,905
投資その他の資産	2,975,294	3,196,036
繰延資産	1,591	—
資産合計	20,887,480	21,668,822
■負債の部		
流動負債	5,376,055	6,029,972
固定負債	7,601,875	7,545,048
負債合計	12,977,931	13,575,021
■純資産の部		
株主資本	4,224,507	4,203,329
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,190,882	1,190,882
利益剰余金	724,067	701,703
自己株式	△139,442	△138,255
評価・換算差額等	3,685,042	3,890,471
その他有価証券評価差額金	545,204	688,082
土地再評価差額金	3,139,837	3,202,389
純資産合計	7,909,549	8,093,801
負債純資産合計	20,887,480	21,668,822

■中間損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで
売上高	7,933,789	8,166,706
売上原価	5,692,815	6,026,889
売上総利益	2,240,974	2,139,817
販売費及び一般管理費	2,100,368	2,023,597
営業利益	140,605	116,219
営業外収益	77,685	71,908
営業外費用	124,135	110,343
経常利益	94,155	77,784
特別利益	20,607	750
特別損失	37,659	16,742
税引前中間純利益	77,104	61,792
法人税、住民税及び事業税	66,693	39,547
法人税等調整額	△42,825	△2,032
中間純利益	53,235	24,277

■中間株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	2,449,000	1,190,882	701,703	△138,255	4,203,329	688,082	3,202,389	3,890,471	8,093,801
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当			△93,422		△93,422				△93,422
中間純利益			53,235		53,235				53,235
土地再評価差額金取崩額			62,551		62,551				62,551
自己株式の取得				△1,186	△1,186				△1,186
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△142,877	△62,551	△205,429	△205,429
中間会計期間中の変動額合計			22,364	△1,186	21,178	△142,877	△62,551	△205,429	△184,251
平成19年9月30日残高	2,449,000	1,190,882	724,067	△139,442	4,224,507	545,204	3,139,837	3,685,042	7,909,549

工事のさまざまなお悩みを解決するノザワの商品・工法

機能性、効率性、デザイン、コスト…。ノザワは、商品・工法を通じて、建築・住宅・土木の工事に関するさまざまなお悩みを解決してきました。今回は、そのなかでも特にユーザーから高い評価をいただいている「アスロック900ナチュラル」と「ハイパート外断熱工法」をご紹介します。

次世代標準を目指す 「アスロック900ナチュラル」

「アスロック900ナチュラル」は、縦張り工法にも横張り工法にも設置可能です。600mm幅の「アスロック」に比べ、ダイナミックなウォールデザインが実現可能で、建物をより豪華に見せることができます。また、「ナチュラル」のもつ素材の風合いとVカットストライプの組み合わせが、時間と共に変化する壁面を濃淡のコントラストで美しく演出します。さらに仕上げも、「ナチュラル」「工場塗装」「タイルパネル」とバリエーションが多く、設計者のクリエイティブイメージを自由自在に表現できるようになりました。



明治安田渡辺ビル (福岡県)

熱負荷軽減に貢献する 「ハイパート外断熱工法」

「ハイパート外断熱工法」は、繊維強化セメント板「ハイパート」と断熱材「スタイロフォーム」を新築および既存の鉄筋コンクリート造建物に設置する工法です。ボード主体のシステム構成と、薄型・軽量による工事の簡素化、および建築物の軽量化も図られ、トータルでのコストダウンを可能にしました。外断熱工法は寒冷地専用と思われがちですが、温暖地域でも「ハイパート外断熱工法」を利用することにより、外壁材から受ける熱負荷が軽減され、環境に配慮した建物に仕上げることができます。



木沢総合防災センター (徳島県)

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	369名(連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング

役員	代表取締役社長	野澤 俊也
	専務取締役	佐々木 三七司
	常務取締役	南 昭二
	常務取締役	豊田 和冲
	常務取締役	三原 伸夫
	取締役	田淵 義章
	取締役	山口 幸久
	取締役	喜田 牧男
	取締役	坂本 茂紀
	常勤監査役	大西 努
	常勤監査役	吉田 慎祐
	監査役	出島 信彦
	監査役	堀田 昌展

ネットワーク

●本社：〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 tel/078-333-4111(代)

●支店・営業所

札幌支店：札幌市中央区大通西1丁目14番2(第2有楽ビル)
 仙台支店：仙台市青葉区本町1丁目1番8号(第一日本オフィスビル)
 岩手営業所：盛岡市内丸16番15号(内丸ビル)
 東京支店：東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)
 高崎営業所：高崎市あら町116番1号(第一生命ビル)
 静岡営業所：静岡市葵区伝馬町9番11号(原科ビル)
 名古屋支店：名古屋市西区名駅3丁目10番17号(IT名駅ビル2号館)

北陸営業所：金沢市本町1丁目5番1号(リファール)
 関西支店：神戸市中央区浪花町15番地
 京都営業所：京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町250(ビルHANA)
 広島支店：広島市中区小町3番25号(住金物産広島ビル)
 松山営業所：松山市大手町2丁目9番地4(石丸ビル)
 九州支店：福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)

●研究所

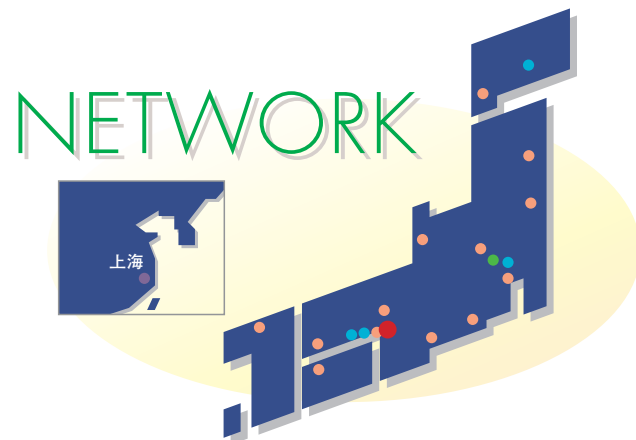
技術研究所：埼玉県深谷市大字折之口字稜威ヶ原1851番地4

●工場

フラノ事業所：北海道富良野市字山部1596番地4
 埼玉工場：埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地
 播州工場：兵庫県加古郡播磨町古宮
 高砂工場：兵庫県高砂市高須1番1号

●海外駐在所

上海駐在所：上海市延安西路2299号 上海世貿商城 10F A55



発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	2,699名

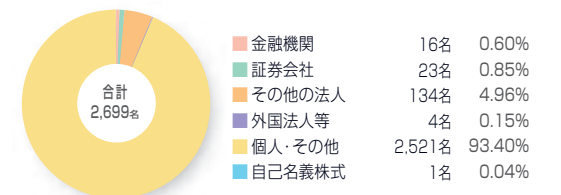
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.93
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
CBC株式会社	603	2.58
神栄株式会社	594	2.54
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
日工株式会社	568	2.43
ノザワ従業員持株会	557	2.38
ニッセイ同和損害保険株式会社	525	2.24

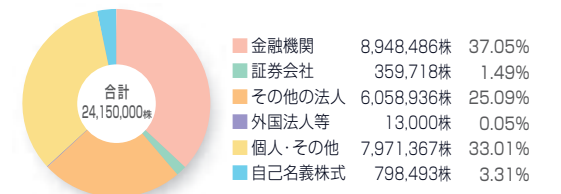
(注) 1.当社は、自己株式(798,493株)を保有しております。
 2.出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

所有者別株主数



所有者別持株数



ホームページのご案内

当社の事業活動、商品情報、株主・投資家の皆様向けIR情報は、ホームページで詳しくご紹介しています。また、アスベスト情報サイトも開設し、アスベストに関する不安や疑問にQ&A方式でお答えしています。今後も皆様にお役立ていただけるよう、掲載情報の充実に努めてまいりますので、ぜひご覧下さい。

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>